

2024年9月 卒業時アンケート結果について

1. 回答状況

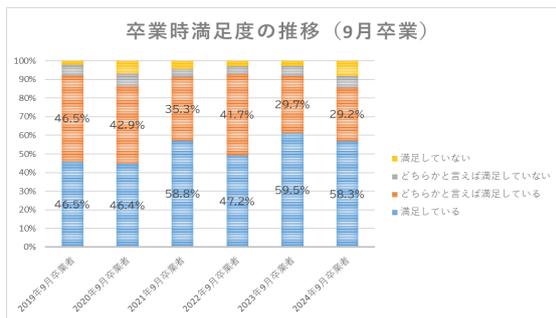
	商経	政策情報	サービス創造	人間社会	国際教養	全体	昨年度
回答者数	16	1	3	3	1	24	37
卒業者数	25	6	4	5	1	41	60
回答率	64.0%	16.7%	75.0%	60%	100%	58.5%	61.7%

※学位記授与式の当日にCUC PORTALのアンケート機能を用いて実施した。

2. 卒業時アンケートの満足度の推移

卒業時満足度（設問7「本学の教育や学生生活は満足できるものでしたか？」の回答状況）の推移について、以下のとおりまとめた。

	2019年9月卒業者	2020年9月卒業者	2021年9月卒業者	2022年9月卒業者	2023年9月卒業者	2024年9月卒業者
満足している	20(46.5%)	13(46.4%)	40(58.8%)	17(47.2%)	22(59.5%)	14(58.3%)
どちらかと言えば満足している	20(46.5%)	12(42.9%)	24(35.3%)	15(41.7%)	11(29.7%)	7(29.2%)
どちらかと言えば満足していない	2(4.7%)	1(3.6%)	1(1.5%)	3(8.3%)	3(8.1%)	1(4.2%)
満足していない	1(2.3%)	2(7.1%)	3(4.4%)	1(2.8%)	1(2.7%)	2(8.3%)
回答者数	43	28	68	36	37	24



【参考】3月卒業時の卒業時満足度の推移



3. 各設問の回答内容

(1) 入学時点と比較して、大学生活を通じて、「専門的な知識・技能」が身に付いたと思いますか？

	商経	政策情報	サービス創造	人間社会	国際教養	全体	昨年度
a. 身に付いたと思う	13 81.3%	0 0%	3 100%	3 100%	1 100%	20 83.3%	31 83.8%
b. どちらとも言えない	2 12.5%	1 100.0%	0 0%	0 0%	0 0%	3 12.5%	5 13.5%
c. 身に付いたとは思わない	1 6.3%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 4.2%	1 2.7%

(2) 上記（1）で選択した理由をご記入ください。

「a.身に付いたと思う」
 ・自分の元々持っていない知識を深めることができた。 / ・講義で、行った上で実践できたため
 ・企業の業績を読むようになった / ・経営学や経済、社会学など、独学では身につかない知識が得られた。

「b.どちらとも言えない」
 ・身についたという実感はあまりないが、潜在的に染みついているものがあるかもしれない

「c.身に付いたとは思わない」
 ・そのようなことが身につけていないと感じるため

(3) 入学時点と比較して、大学生活を通じて、「幅広い教養」が身に付いたと思いますか？

	商経	政策情報	サービス創造	人間社会	国際教養	全体	昨年度
a. 身に付いたと思う	13 81.3%	0 0.0%	3 100.0%	3 100.0%	1 0%	20 83.3%	32 86.5%
b. どちらとも言えない	2 12.5%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	3 12.5%	5 13.5%
c. 身に付いたとは思わない	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	1 4.2%	0 0.0%

(4) 上記（3）で選択した理由をご記入ください。

「a.身に付いたと思う」

- ・講義で、行った上で実践できたため / ・一部の分野だけではなく他の分野も学べたため
- ・福祉や環境のことなど、興味のあまりなかった範囲の知識が得られ、フィールドワークも学びになった。
- ・いろいろなことを学んだから

(5) 入学時点と比較して、大学生活を通じて、「高い倫理観」が身に付いたと思いますか？

	商経	政策情報	サービス創造	人間社会	国際教養	全体	昨年度
a. 身に付いたと思う	14	0	3	3	1	21	29
	87.5%	0.0%	100.0%	100.0%	0%	87.5%	78.4%
b. どちらとも言えない	1	1	0	0	0	2	8
	6.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0%	8.3%	21.6%
c. 身に付いたとは思わない	1	0	0	0	0	1	0
	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	4.2%	0.0%

(6) 上記(5)で選択した理由をご記入ください。

「a.身に付いたと思う」

- ・講義で、行った上で実践できたため / ・学ぶものは学べた
- ・大学創設者の理念が学びになったから / ・自分の軸をもって行動してきたから

(7) 本学の教育や学生生活は満足できるものでしたか？

	商経	政策情報	サービス創造	人間社会	国際教養	全体	昨年度
a. 満足している	10	0	1	3	0	14	22
	62.5%	0.0%	33.3%	100.0%	0%	58.3%	59.5%
b. どちらかと言えば満足している	4	0	2	0	1	7	11
	25.0%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%	29.2%	29.7%
c. どちらかと言えば満足していない	1	0	0	0	0	1	3
	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	4.2%	8.1%
d. 満足していない	1	1	0	0	0	2	1
	6.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0%	8.3%	2.7%

(8) 上記(7)で選択した理由をご記入ください。

「a.満足している」

- ・有意義な4年間を過ごせた / ・幅広い科目や、フィールドワークで幅広く、また深い知識と経験を得られた。

「b. どちらかと言えば満足している」

- ・講義で、行った上で実践できたため

「c. どちらかと言えば満足していない」

- ・思っていたものとは違ったから

<総括>

・「専門的な知識・技能」、「幅広い教養」、「高い倫理観」について、入学時点と比較して「身に付いたと思う」と回答した学生は、それぞれ83.3%（前年度83.8%）、83.3%（前年度86.5%）、87.5%（前年度78.4%）であり、「高い倫理観」については前年度に比べ割合が増加した。

・「身に付いたとは思わない」と回答した学生の割合は、「専門的な知識・技能」「幅広い教養」「高い倫理観」とも4.2%（前年度は全項目で2.8%）であり、「どちらとも言えない」と回答した学生もいるため、学修したことが身に付いているという実感（成長実感）が得られていない学生がいることも確認できた。

・どのような活動を通じて、「専門的な知識・技能」、「幅広い教養」、「高い倫理観」が身に付いたかという項目では、今回より自由記述としたが、「講義」が重要であったことがわかる。

・本学の教育と学生支援に対する満足度に関しては、「満足している」「どちらかと言えば満足している」と回答した学生が87.5%（前年度89.2%）であり、前年度よりも微減した。

<集計結果を踏まえた今後の取組>

・本学では、ディプロマ・ポリシーに基づき、2016年度に本学で身に付ける3つの力（CUC 3つの力）と6つの能力要素（CUC 6つの能力要素）を定め、2017年度からはシラバスにどの能力要素を身に付けることに寄与する科目であることを明示することとした。

・3つの力のうち、特に「高い倫理観」の成長実感については、年々上昇傾向にある。

・回答対象者及び回答者の減少や質問項目の変更により、以前との比較が難しいものの、大学生活における「講義」は影響度が高いことは共通している。

・アンケート結果からは、成長の実感が得られていない学生が一定数いることも確認できるため、引き続き、3つの力と6つの能力要素の浸透と、それらの向上に向けた取組を進めていく。